

中野山遺跡（第11次）No. 7

こんなものが見つかりました！ その2 えんどうつきろあな 煙道付炉穴

所在地：四日市市北山町

位置情報URL：<http://www.gis.pref.mie.lg.jp/mmm/index.html?z=128&l1=35.047974537037035,136.58725141242937>

今回紹介するのは、煙道付炉穴です。

煙道付炉穴は縄文時代草創期～早期（約1万3000年前～約8000年前）にかけてみられる遺構で、九州から関東までの太平洋側の遺跡でしか見つかりません。中野山遺跡の調査が始まる



までは、三重県でも6遺跡で65基が見つかり、今年度の調査でもすでに29基が見つかりました。合計すると86基となり、県内では最多の事例です。

検出された煙道付炉穴 ※指の先にかすかに焼土がみえます。



掘っているところ ※トンネル部分は崩れていました。





掘あがった煙道付炉穴 ※調査のために断ち割っています。

博士、中が赤く焼けていますね。
煙道付炉穴は何のために作られた
のですか？



アーリーちゃん

煙道付炉穴の用途は、煮炊きや燻^{くんせい}製作など、研究者の間でも意見が分かれておって、よく分から
んのじゃ。中野山遺跡の調査でその手がかりが見つかるかもしれんぞ！



モグ博士

問い合わせ先

〒512-8064 三重県四日市市伊坂町 126-1

三重県埋蔵文化財センター 調査研究 3 課四日市整理所

電話番号：059-363-3195／ファックス：059-363-3196

e-mail：maibun@pref.mie.jp